

始まる「協創」

ひととのつながりから
地域を楽しもう！

みんなで作った「多摩市自治基本条例」が平成16年8月1日に施行され、今年で20年。多摩市のまちづくり(自治)を進めていくための最も基本的な考え方と、それを実現するための具体的な取り組み・方法を定めた市の最高規範(ルール)です。

この条例では、市民がまちづくりに主体的に参加し、行動する「参画」や、市民・市議会・市の執行機関が、それぞれの役割と責任のもとで、まちづくりのためにともに考え協力し、行動する「協働」により、市民が、市民の手で、市民の責任で主体的にまちづくりにかかわることが大切であるとし、これまで多摩市では参画・協働のまちづくりが進められてきました。

しかしながら、施行から20年が経ち、地域課題の複雑化の一方、少子高齢化の進行・ライフスタイルや働き方の多様化・コロナ禍による意識や行動様式の変化により、まちづくりの担い手が減少し、市民主体の地域社会を将来に渡って維持していくのが難しいエリアも出てきました。

このような中で、多世代・多分野がつながり合える地域コミュニティを形成することで、さまざまな地域課題の解決とともに、新たなまちの魅力や価値創造を進めるために、令和6年3月に条例を改正し、「協創」という考え方を明確にしました。

市は、「協創」が実現した多摩市らしい地域共生社会に向けて、子どもからシニア世代まで、「誰もが」まちづくり活動に参加でき、それが楽しいと思えるような新しいしくみ・しかけづくりを、市民を含めたさまざまな主体とともに進めていきます。

- | | | |
|-------------------------------|------------------------------|---------------------------------------|
| 2 地域には「協創」のきっかけとなる場がたくさんあります！ | 6 税、求人・募集、市民参画 | 10 在宅？避難所？避難ってナンダ～地震が発生したときの初動を確認しよう～ |
| 3 子ども・若者関連情報 | 7 第33回多摩市平和展～すべてのいのちに平和な地球を～ | 11 健康だより(受診相談) |
| 4 介護予防リーダー養成講座 | 8 講座・催し物、花とみどりの講座 | 12 多摩市役所本庁舎建替基本計画素案の市民フォーラムを開催します |
| 5 長寿を共に祝う会 | 9 講座・催し物、市民のひろば | |

市長コラム 多摩の風 第125回

キース・ヘリングの想い
ハケ岳山麓の小淵沢に中村キース・ヘリング美術館があります。先月、「キース・ヘリングと平和をえがこう」とのワークブックが刊行されました。

この冊子は、色鉛筆・マーカーなどで自由に描き、ヘリングと共に平和への想いを表現するワークブックとなっています。

キース・ヘリングは、1980年代のアメリカを代表する芸術家でストリートアートの先駆者でした。地下鉄構内にチョークで絵を描いたり、ベルリンのチャリー検問所の壁に絵をかけたなど大活躍でした。

今回の企画展では、アートには世界を変える力がある！戦争ってこわいもの、核兵器にぜったい反対、などヘリングが想いを込め制作したアートを展示し、ニューヨーク・多摩さらには広島で市民から託された想いの軌跡を追っています。

ヘリングは1987年に開館直前の「パルテノン多摩」を訪れ、約500人の子どもたちと一緒に大きなキャンパスに人々が手をつなぎ輪となって集うマイ・タウンを描き、その作品は多摩市として市民の記憶に残る大切な宝物となっています。

私は、今年も8月6日、子どもたちと共に広島平和記念式典に参列し、核兵器廃絶と世界平和を祈っています。

残念ながら、ヘリングは、1990年にエイズで亡くなり、広島市民と約束したアートを描く願いは叶いませんでした。

8月25日のパルテノン多摩での広島派遣成果報告会、そして小淵沢の中村キース・ヘリング美術館をのぞいてみませんか。

(多摩市長 阿部裕行)